

国 語

昨年度の課題

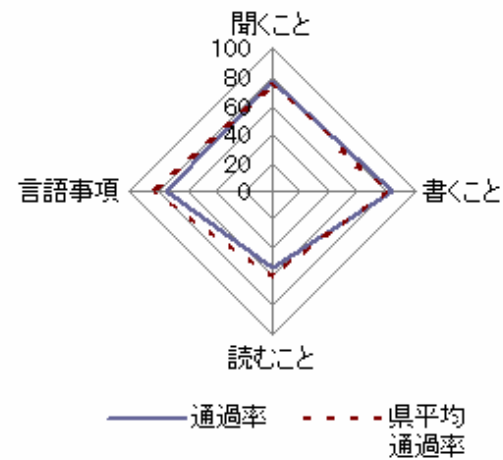
- ① 自分の意見をしっかりと持ち、それに対する明瞭な理由をきちんと文章化するという学習が不十分であった。
- ② 「主語・述語の関係」の把握

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

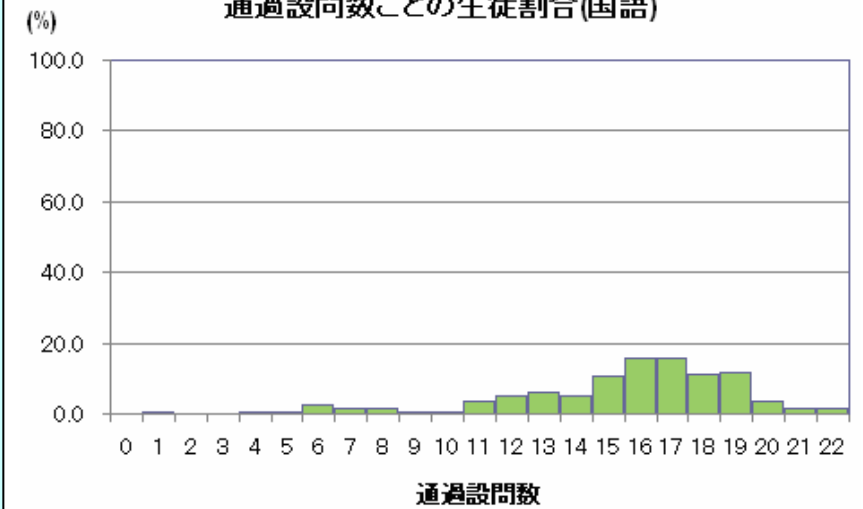
- ① 根拠をあげて自分の意見や感想をまとめることを授業で取り入れた。
- ② 折にふれて主語・述語の関係の把握を明確にしながら学習させた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 70.0% 市平均 70.2%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの生徒割合(国語)



重点課題

- 内容理解、登場人物の心情把握
- 主語・述語の関係、文語のきまり
- 行書の基礎

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 精読を取り入れ、場面場面の状況を把握し、心情を考えさせる授業を取り入れる。
- ② ワークシートを使って反復学習の中で定着を図る。
- ③ 楷書と行書の違いについて比較しながら学習させる。

今年度の評価指標

- 今回著しく平均通過率が市平均よりも低かった問題について、学年末に再度調査し、平均通過率を80%以上にする。

指導方法等の改善計画について

数 学

昨年度の課題

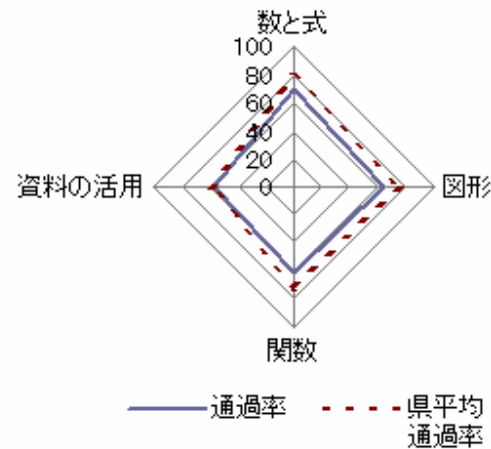
- ① 「図形」領域の理解が低い。
- ② 基礎的な計算力や知識は身につけているが、それらを活用する力が身につけていない。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

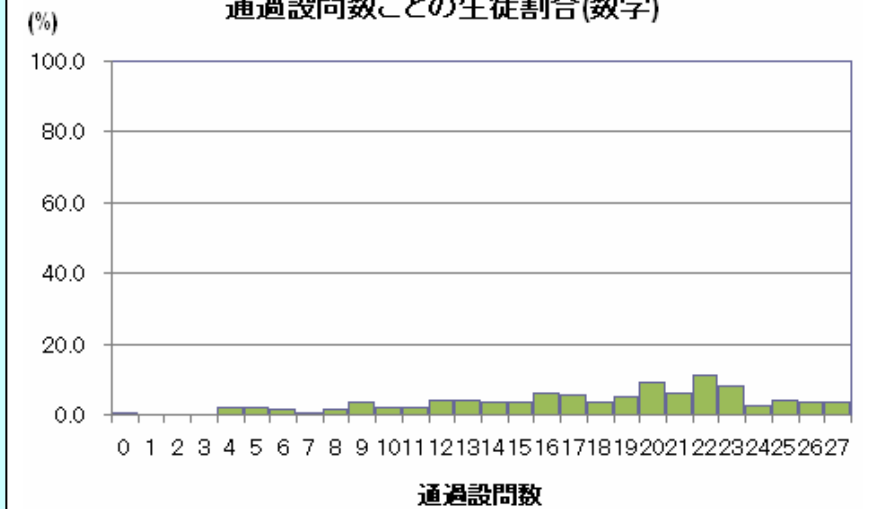
- ① 身近な事象を授業の中にできるだけ取り入れ、生徒が興味・関心を持つような授業を工夫した。
- ② 説明しながら発表したりと自分の考えを他者にわかりやすく説明できる力を培うような授業を工夫した。
- ③ 数学に必須である四則演算の練習をすることで基礎的な計算能力を引き続き高めた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **65.7%** 市平均 **72.4%**

領域別平均通過率(数学)



通過設問数ごとの生徒割合(数学)



重点課題

- 図形の領域で通過率が低く、特に空間内での直線と平面の関係について理解できていない。
- 関数の領域で通過率が低く、比例・反比例の意味の理解やグラフから考察することができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 空間図形を作ったり、操作したりする活動をより多く取り入れ、理解を深める。
- ② 2つの数量の関係を、表や式で表す学習をより多く行う。また、複数のグラフを読み取り、比較したり、関係付けたりする活動を取り入れる。

今年度の評価指標

- 各領域の平均通過率を65%以上にする。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

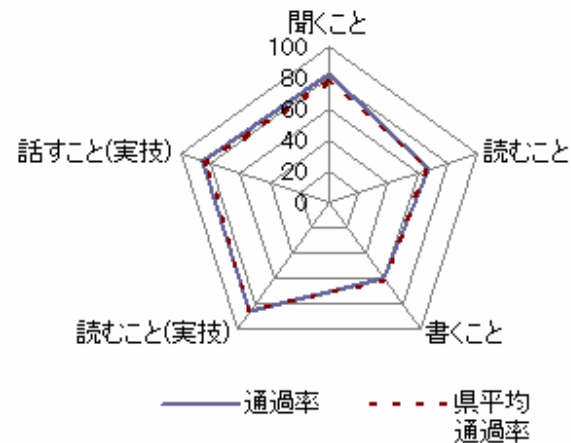
- ① 「読むこと」の領域において、文法力を身につけることができていない。
- ② 「書くこと」の領域において、文章表現ができる力がついていない。
- ③ 「話すこと」の領域においても、あらかじめ読んだ文章についての問答がうまくできていない。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

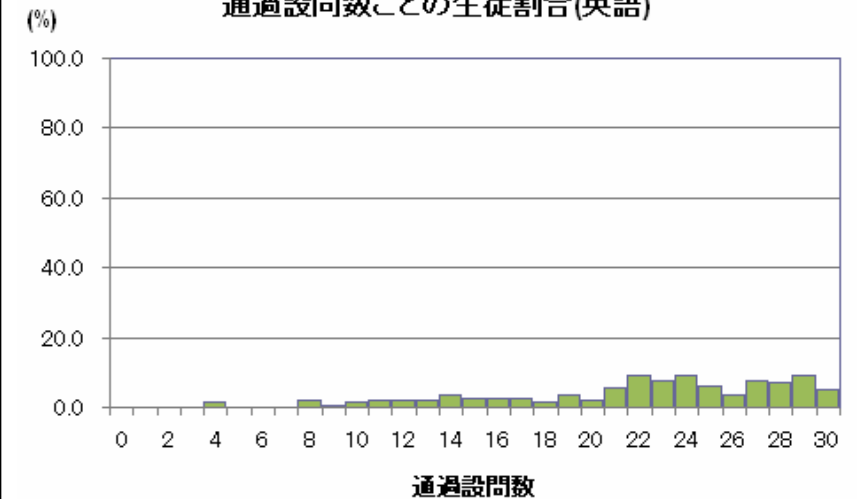
- ① 文型ドリルを持たせ、既習の文法を繰り返し声に出して練習させた。
- ② 夏季休業中には、必ず自己表現を含む作文を作成させた。
- ③ 「読むこと」の指導においては、英文を読むことに抵抗を持たないように、細かい文法分析より、内容理解に力を入れた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **73.1%** 市平均 **69.9%**

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題

- 全体的に通過率はあがっているものの、書く力が特に低く、バランスがとれていない。
- 読みとりにおいて、流れをつなぎ言葉や文章構造を理解しながら読むことに難しさを感じている。
- 学習した文型を自己表現活動において瞬時に利用することができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- 書く力をつけるため、授業内でも、単元ごとに作文活動を取り入れる。
- 作文に必要な表現を覚えさせるため、ドリル練習をさらに多く行う。
- 文章を読みとった後に、そのことについての意見や感想を言わせたり、書かせたりする機会を設ける。

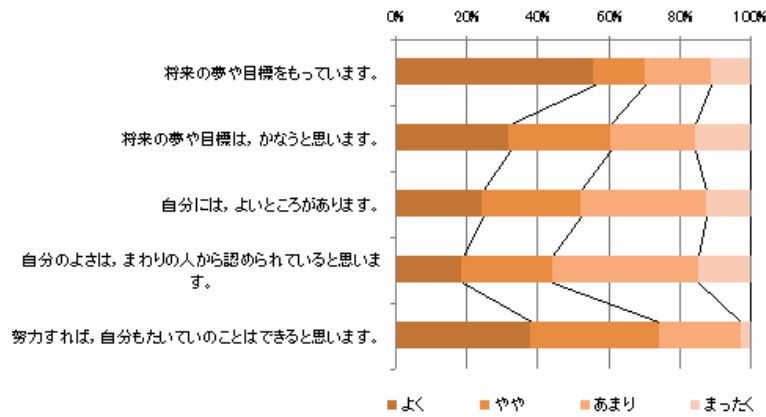
今年度の評価指標

- 「書くこと」の領域における平均通過率を65%にする。

質問紙調査

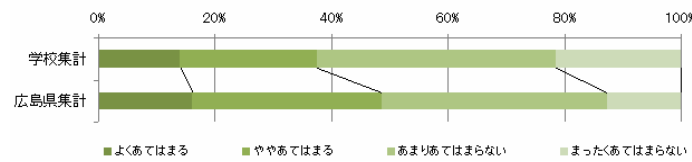
(1) 生活・学習

自己実現力・自己効力感

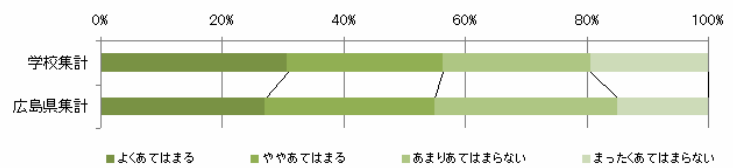


(2) 教科

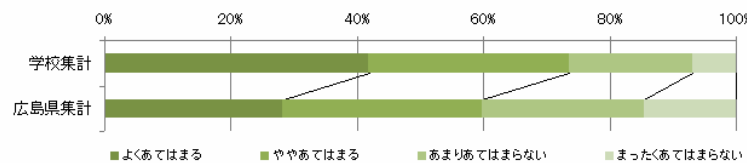
国語の授業では、中心となる言葉や文に線をひきながら、文章を読んでいます。



数学の授業では、計算などのくり返し学習をするのが好きです。



英語の勉強は好きです。



改善したい点	今後の具体的な取組の内容
○「自分には良いところがある」と思っていない生徒が、47.9% (広島県39.5%) と多い。	○ 自己理解を促し、自己肯定感を高めていくような適切な支援や、自分自身を大切にして将来への希望を持たせるような指導をする。
○「ふだんの家庭学習の時間が1時間より少ない生徒」が、52.1% (広島市51.0%) と多い。	○ 家庭学習を定着させるために、課題の出し方、自習学習の取組方などの工夫をする。

来年度の目標値	目標内容
	・「自分には良いところがある」と思っている生徒を55%以上にする。 ・ふだんの学習時間が1時間以上の生徒を60%以上にする。

	生徒の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	「国語の授業では、中心となる言葉や文に線をひきながら、文章を読んでいます」が、市平均よりも11ポイント低い。	授業の中で、教科書に線を引いたり、四角で囲んだり、色鉛筆を使って記号を付けたりするような作業を多く取り入れ、文章の構成や主語・述語の関係を目で見てわかるようにする。
数学	数学の授業では、計算などのくり返し学習をするのが好きな生徒は55%いるが、生徒が文章に書かれている関係を式で表すために、言葉の式や図を使って考えている生徒は少ない。	授業で、図をかかせたり、それを使って生徒同士が自分の考えを説明し合ったりする協同学習の機会を増やす。
英語	多くの生徒が英語の学習を楽しんでいるが、自己表現ができないうちが多い。英作文の機会はあるが、時間をかけて書かせたり、分かる範囲で表現するよう指導しており、生徒はもっと自己の思いに近い表現をしたがっているようだ。	授業内で、与えられた時間で書いたり話したりする機会を増やし、評価する。小テストや定期テストにも、自己表現をさせる問題を取り入れ、生徒が意識して学習するようにする。

来年度の目標値	目標内容
	・数学の「言葉の式や図を使って考えている」の「よくあてはまる、ややあてはまる」を50%以上にする。 ・「国語の授業では、中心となる言葉や文に線をひきながら、文章を読んでいます」の「よくあてはまる、ややあてはまる」を45%以上にする。